

エルジェイ便り

LJ SOCCER PARK 2008

2008. 2発行 No.00035

エルジェイ・サッカーパーク

〒243-0022 厚木市酒井543

TEL : 046-220-0506

FAX : 046-220-0508

<http://www.l-sport.co.jp>

Lee'sWords

今月号では、Jr. ユースについて書いてみます。

我がJr. ユースチームに入るにはセレクション(試験)があり、その結果については合格・補欠・御遠慮と3つに分けてハガキで通知しており、合格・補欠に進んだ子ども達は面談を行います。本人とご両親を交えエルジェイスタッフとして私、松川、後援会から安藤裕里さんで行い、本人より調査書及び成績表を受け取ります。

冒頭、私がエルジェイサッカーパーク設立の動機を話し、続いてJr. ユースの指導理念を伝えます。そして年間行事の説明。夏合宿・盆踊り・冬合宿・大相撲朝稽古見学・春合宿・最後にエルジェイIn&Outセレモニー。特に3年生の春には進路相談をし、子どもの希望と力量を照らし合わせながら進む道を探っていきます。この様な形で進めているエルジェイJr. ユースチームを皆様はどのようにお考えになりますか。

さて、子ども達の憧れの日本代表チームにも触れましょう。単独チームの監督はチーム予算を考えながら自らのチーム作りを行います。あの選手が欲しい、この選手が欲しいと思うのは当然、しかしながらチーム予算を計りながら決めていかねばなりません。日本代表の監督は全てのチームから欲しい選手を予算に関係なく呼ぶ事が出来ます。単独チームの監督にすれば羨ましい限りです。代表チームの監督は練習時間の少なさを論じ、言い訳にする人がいますが如何なものでしょうか。

岡田日本代表監督の今後に注目しながら、幼い時からのしつけの重要性を次回号でお話していきます。

(李 国秀)

LJ Academics

今年に入り、アカデミーのバンビーノ・バビークラスの子供達は「足を素早く動かす事」をテーマにトレーニングを行っています。

去年の暮れに小学生の試合を見る機会があり、その時に「足が素早く動く子は、多少ボールの扱いが下手でも相手に取られにくいな」と感じました。そこでアカデミーの子供達も「足が素早く動くようになれば、今以上に良い事が出来るはず」と思い、ボールを扱う時・扱わない時にも足をたくさん動かすメニューを取り入れています。最初は出来ない子が多く、どうしたら足を素早く動かせるか、どのように伝えれば小学生にも足の動かし方が伝わるか毎日色々なトレーニングを考えては試行錯誤しながら実践して行きました。

トレーニングを続けて1ヶ月、1つの事にこだわってやり続ける大切さを子どもから学んだ気がしました。

そしてこれからも子ども達の為にどんどん良い事を取り入れ、続けて行きたいと思えます。

(バンビーノ・バビークラス担当:清田 祐介)

EVENTS

「フットサルをやってよかった!!」

昨年エルジェイで自主大会を開催していただいた各企業様の担当者の方とつい最近お話をさせていただいた際に、これ以上ない嬉しいお言葉を頂きました。社内の雰囲気を一変させたい、もっとコミュニケーションを取らせたい、新入社員研修の一環で仲間を作らせたい etc... フットサル大会を開催する目的は様々ですが、私がこの眼で見えてきて共通して感じた事は、大会後の皆様の顔が生き生きしているという事です。普段運動とはなかなか縁の無い方もこの時ばかりは限界近くまで身体を動かし、仲間と声を出し合い、仲間と触れ合い、仲間と喜び、悔しがります。たった半日で得られたモノの大きさを担当者の方にご理解いただき大変嬉しく思っています。

残念ながら怪我をされてしまう方もいらっしゃいましたが、スポーツにある程度の怪我は付き物だと思います。

その危険性を下げる為にも、“健康維持管理”の為、運動する機会を会社側から提供する事が必要な時代になってきています。

野球チームがあるからあの会社に入りたい、サッカーを続けたいからこの会社は辞める等、会社を選ぶ重要な理由の1つに、スポーツ行事やレクリエーションが挙げられるようになってきているそうです。社員の皆様に、いかに働いてもらうかではなく、いかに気持ち良くフレッシュな状態でいてもらうかが今後重要視するべき点だと私は考えます。エルジェイがお役に立てる事がございましたら全力で対応いたしますのでお気軽にご相談下さい!! (永野 亨)